

令和5年度ティーンズコーナー講演会



・博物館学芸員のお仕事・

バックステージインタビュー

講師

大阪市立自然史博物館

まつもと りきお

学芸員 松本 吏樹郎 さん



大阪市立中央図書館

ティーンズ担当

本日の講演はいかがでしたか？



ジュニア向けのキャリアの話かなというイメージだったんですけど、それにあてはまるような年代の子がそんなにはいなかったかなという印象ですかね(笑)。

ただいろんな質問をしていただいてありがたかったです。小さい子も聴きに来るんだと。例えば特別展なんかで、誰を対象にアナウンスをするのかを結構考えるんですけど、自然史博物館には今まで興味がなかったけれど、今日は参加してみようと思った方って結構いるのかなと思って。そういう人に届くようにやっていこうと思いましたね。

もし学芸員になっていなかったらどんな職業についていたと思いますか？



あまり思い浮かばないですが、もともとは博士課程に残って研究を続けたいと思っていたので、大学などでそのまま続けていくというのが、一応考えとしてはありましたね。



大学の教授などでしょうか？



はい、教員として。
なかなかそんなに甘い世界じゃないんですけど。

難しさで言えば学芸員も同じだと思いますよ。
ところで、 普段図書館は使われますか？



日常的にはあまり使っていないですが、文献などを調べる時は、大学の図書館などに行っています。地域との連携活動として大阪公立大学に行ったりしているので、そこでも複写サービスなどを使っています。

ジャンル問わず、ご趣味で読まれる本はありますか？



読書が趣味というほどではないんですが、藤沢周平の本はどれも好きです。他に、釣りが好きなので開高健のシリーズも好きです。

休日はどのように過ごされていますか？



最近あまり余裕がないことが多くて。休日らしい休日がありませんね。

お忙しいですね。休みの日であっても、フィールドワークに行かれたりしていますよね。



家族にブーブー文句を言われながら(笑)。



大阪市内でも、ここに行ったら虫がたくさん見られるという所はありますか？



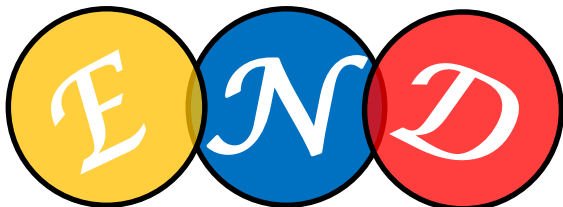
大阪城公園とか、昔からあるような古い公園などでしたら、いろんな虫が見られます。長居公園も、そんなに古くはないんですけど緑がそれなりにあるので。「大阪、虫おらん！」って言われるんですけど、それなりに環境に適応できるものがあるので、「都会であっても街中にも生態系があるんだよ」という話は博物館ではよくしますね。

虫に対して「気持ち悪い」という反応は傷つきますか？



それは全然。人それぞれなので。「虫が気持ち悪い」と思うのは何が原因なんだろうというのも結構面白くて。本当に虫自体を嫌ってるのか、他人が嫌ってるから嫌いなのか、子どもの頃に「触りなさんな」って言われたから嫌なのかとか、人によって「嫌い」の背景はいろいろあって。そういうのも面白いテーマだと思いますね。

本日はお忙しい中、貴重なお話をたくさんいただきありがとうございました！



リーディ
ティーンズコーナー
キャラクター

